

◆ 職場における熱中症による死傷災害の発生状況 ◆ (令和 3 年 広島労働局)

1 職場における熱中症による死傷者数の推移 (平成 23 年～令和 3 年)

平成 23 年～令和 3 年の職場における熱中症による死亡者及び休業 4 日以上の上業務上疾病者の数 (以下合わせて「死傷者数」という。) をみると最少は 3 人、最多は 32 人となっており、令和 3 年は 11 人となっている。

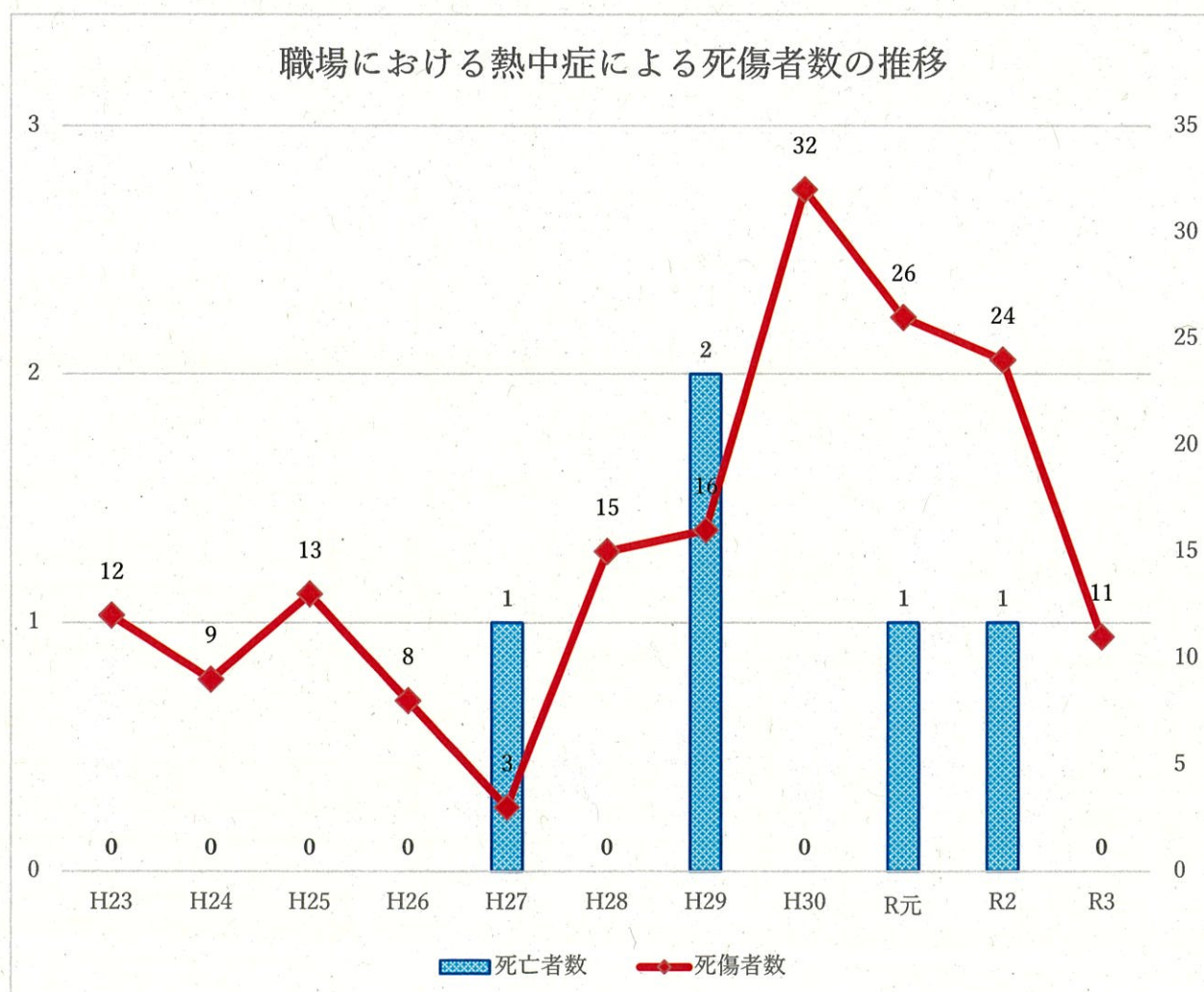
令和 3 年の死傷者数は、対前年同期で 13 人、54.2%の減少となっており、猛暑期に長雨が続いた影響が出ている。

死亡災害は、発生しなかった。

➤ 職場における熱中症による死傷者数の推移 (人)

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R 2	R 3
12	9	13	8	3	15	16	32	26	24	11
(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(0)

※ () 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。



2 業種別発生状況（平成23年～令和3年）

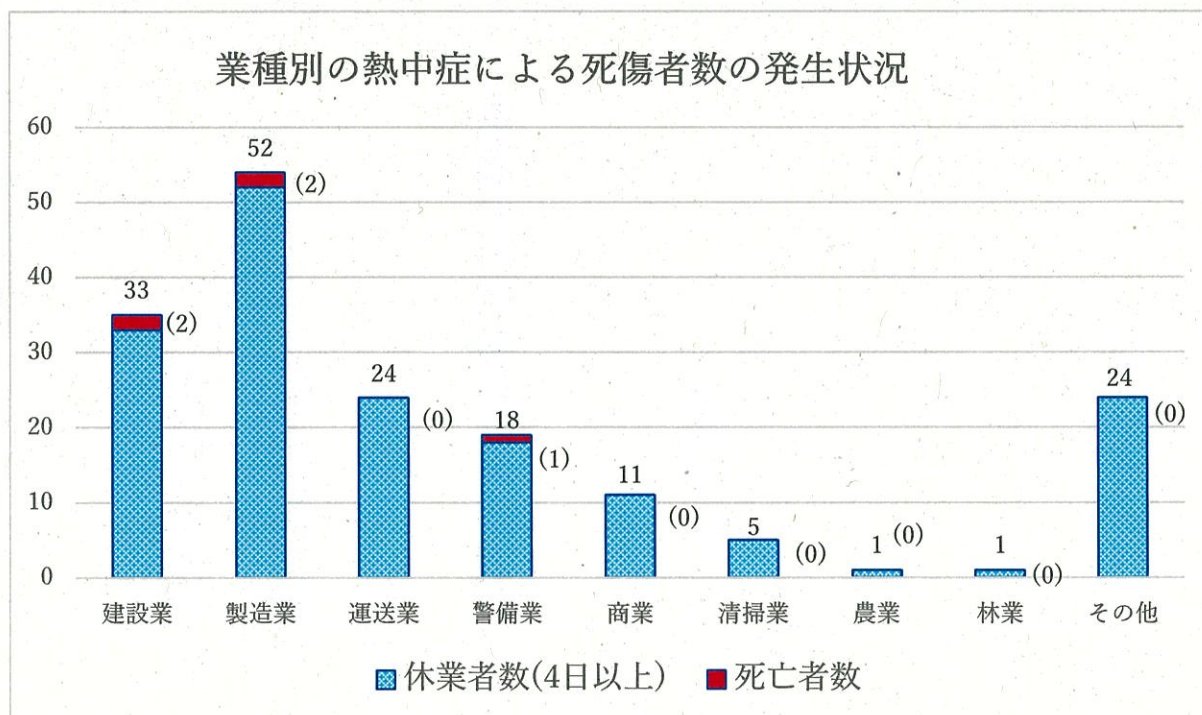
平成23年～令和3年の業種別の熱中症による死傷者数をみると、製造業が最も多く、次いで建設業で多く発生している。これらの2業種で全体の5割以上を占めているが、近年は警備業においても増加傾向が認められる。

令和3年は、警備業が最多で4人、製造業が2人、運送業ほか4業種は1人ずつで建設業はゼロであった。死亡災害は発生していない。

▶ 熱中症による死傷者数の業種別の状況（人）

業種	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合 計
建設業	3 (0)	3 (0)	5 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	6 (2)	4 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	33 (2)
製造業	4 (0)	4 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	5 (0)	7 (0)	7 (0)	9 (1)	8 (1)	2 (0)	52 (2)
運送業	3 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	8 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	24 (0)
警備業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	5 (0)	3 (0)	4 (0)	18 (1)
商 業	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	11 (0)
清掃業	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	5 (0)
農 業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
林 業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
その他	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	7 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	24 (0)
合 計	12 (0)	9 (0)	13 (0)	8 (0)	3 (1)	15 (0)	16 (2)	32 (0)	26 (1)	24 (1)	11 (0)	169 (5)

※（ ）内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。



3 月・時間帯別発生状況（平成23年～令和3年）

（1）月別発生状況

平成23年～令和3年の月別の熱中症による死傷者数をみると、全体の約8割以上が7月及び8月に発生しており、死亡災害も7月、8月に集中している。

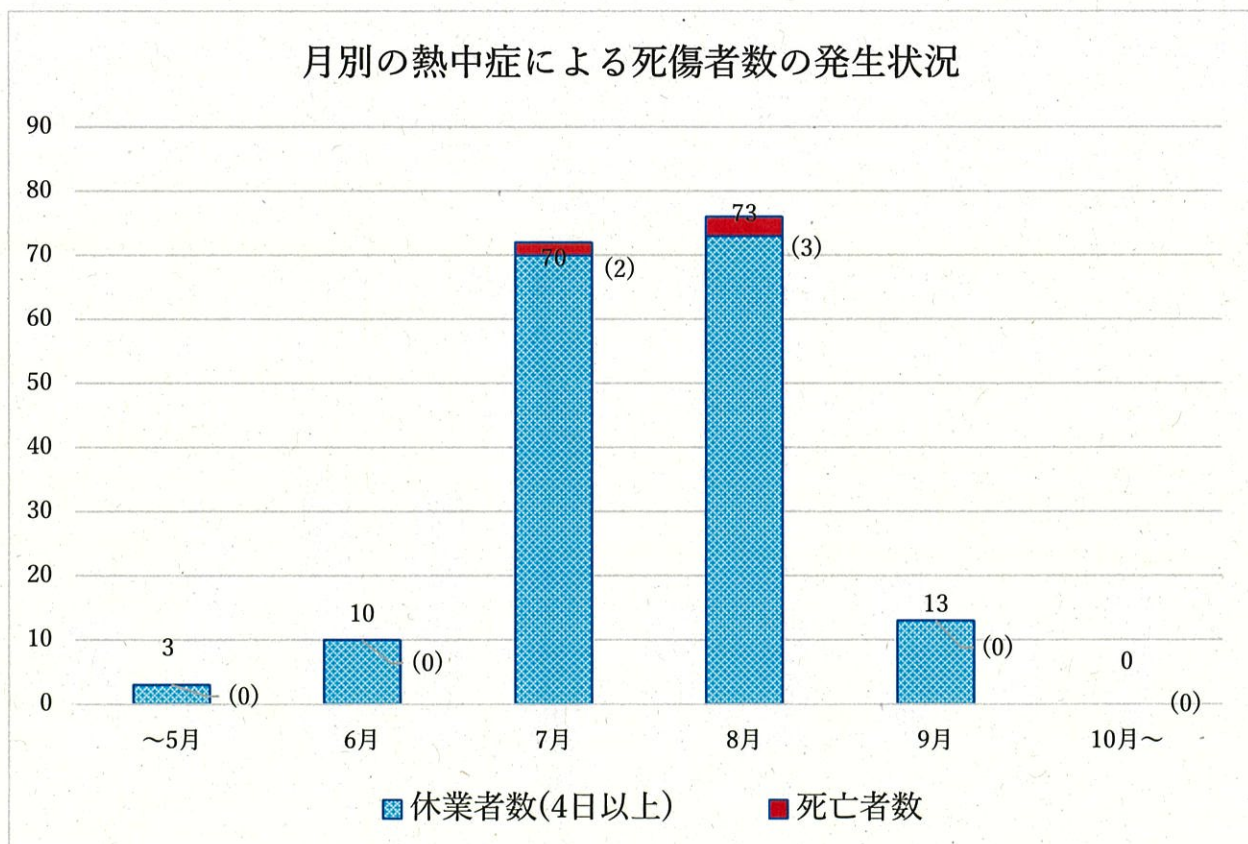
令和3年も同様に7月、8月で多く発生している。

➤ 熱中症による死傷者数の月別の状況

年 月別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合 計
～5月	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)
6月	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	10 (0)
7月	4 (0)	4 (0)	6 (0)	5 (0)	1 (0)	10 (0)	7 (1)	18 (0)	9 (1)	2 (0)	4 (0)	70 (2)
8月	4 (0)	5 (0)	6 (0)	3 (0)	2 (1)	4 (0)	8 (1)	11 (0)	8 (0)	18 (1)	4 (0)	73 (3)
9月	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	7 (0)	1 (0)	1 (0)	13 (0)
10月～	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	12 (0)	9 (0)	13 (0)	8 (0)	3 (1)	15 (0)	16 (2)	32 (0)	26 (1)	24 (1)	11 (0)	169 (5)

※ 「～5月」は1月から5月まで、「10月～」は10月から12月までの合計。

※ ()内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。



(2) 時間帯別発生状況 (平成23年～令和3年)

平成23年～令和3年の時間帯別の熱中症による死傷者数をみると、14時台をピークに17時台まで高止まりの状態が発生している。作業終了後の帰宅中又は帰宅後に体調が悪化し、夜間病院へ搬送されるケースも散見される。

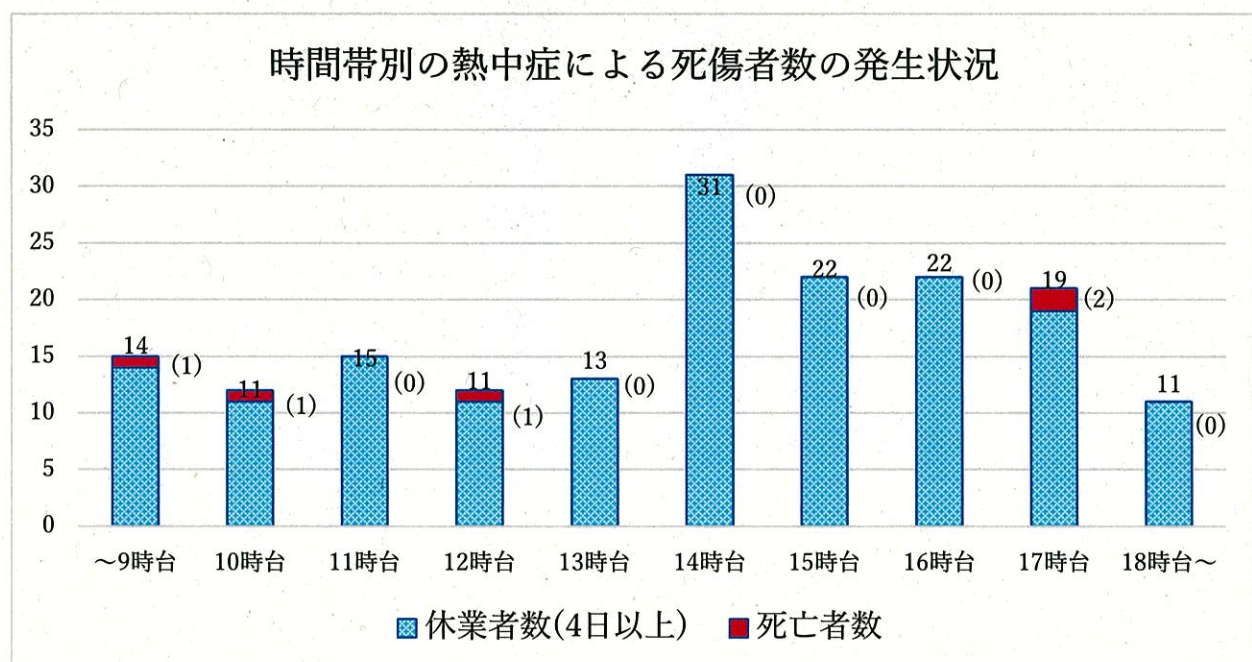
令和3年も、13～17時台(午後)で多く発生している。

➤ 熱中症による死傷者数の時間帯別の状況

年 時間帯別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合 計
～9時台	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (1)	2 (0)	14 (1)
10時台	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	1 (0)	2 (0)	11 (1)
11時台	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	15 (0)
12時台	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	11 (1)
13時台	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	13 (0)
14時台	1 (0)	2 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	7 (0)	5 (0)	4 (0)	1 (0)	31 (0)
15時台	4 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	22 (0)
16時台	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	3 (0)	4 (0)	1 (0)	22 (0)
17時台	2 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (2)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	19 (2)
18時台～	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	11 (0)
合 計	12 (0)	9 (0)	13 (0)	8 (0)	3 (1)	15 (0)	16 (2)	32 (0)	26 (1)	24 (1)	11 (0)	169 (5)

※ 「～9時台」は0時から9時台まで、「18時台～」は18時から23時台までの合計。

※ ()内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。



4 経験年数別発生状況（平成23年～令和3年）

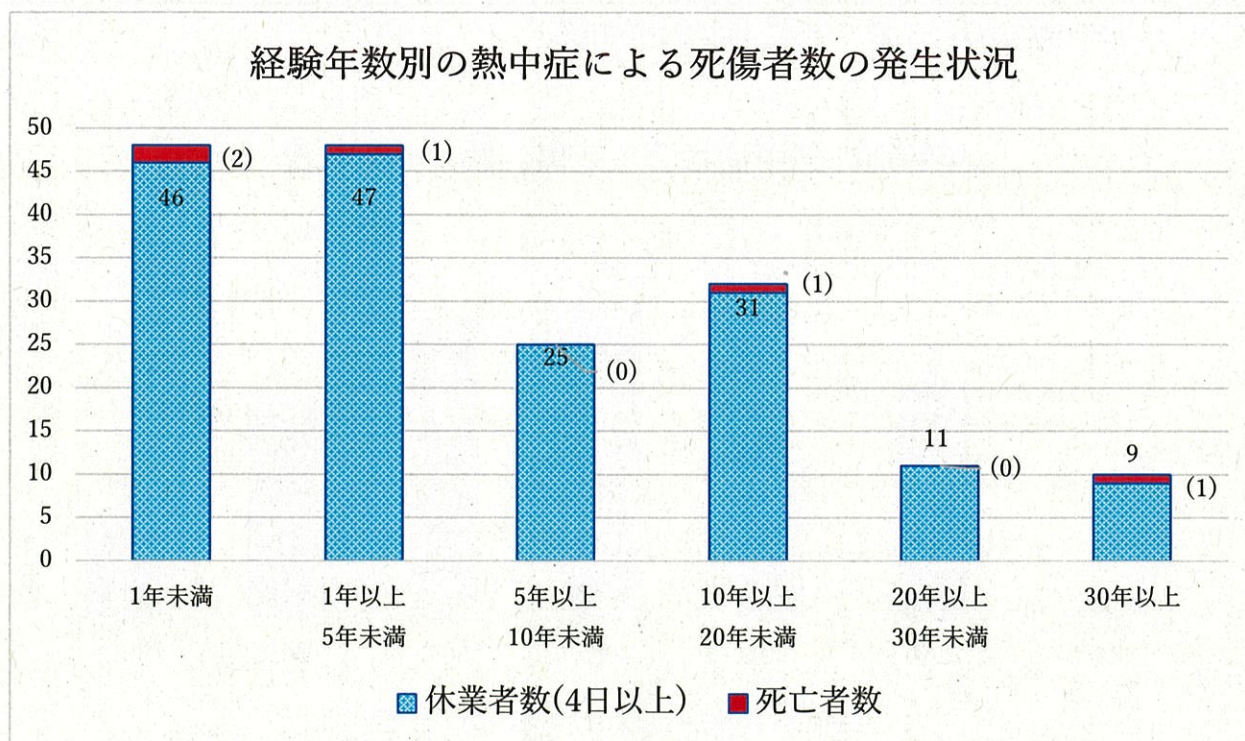
平成23年～令和3年の経験年数別の死傷者数をみると、1年以上5年未満が最多であり、次いで1年未満が多い。経験年数が5年未満までの死傷者が全体の5割以上となっており、熱中症予防の教育・研修の実施が重要である。

令和3年は、1年以上5年未満が最多となっている。

➤ 熱中症による死傷者数の経験年数別の状況（人）

年 時間帯別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R2	合 計
1 年 未 満	3 (0)	2 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (1)	4 (0)	5 (1)	12 (0)	7 (0)	3 (0)	3 (0)	46 (2)
1 年 以 上 5 年 未 満	2 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (1)	10 (0)	7 (0)	7 (0)	6 (0)	47 (1)
5 年 以 上 10 年 未 満	2 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	6 (0)	6 (0)	1 (0)	25 (0)
10 年 以 上 20 年 未 満	0 (0)	1 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	5 (0)	4 (0)	3 (0)	7 (1)	1 (0)	31 (1)
20 年 以 上 30 年 未 満	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	11 (0)
30 年 以 上	4 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (1)
合 計	12 (0)	9 (0)	13 (0)	8 (0)	3 (1)	15 (0)	16 (2)	32 (0)	26 (1)	24 (1)	11 (0)	169 (5)

※（ ）内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。



5 年齢別発生状況（平成23年～令和3年）

平成23年～令和3年の年齢別の熱中症による死傷者数をみると、すべての年代において熱中症が発生しているが、最多は40代、次いで50代の発生が多い。また、60代以上の死傷者数も全体の25%近くを占めていることから、高年齢労働者への配慮が必要である。

令和3年も多くの年代で熱中症が発生し、30代が最多となっている。

➤ 熱中症による死傷者数の年齢別の状況（人）

年 年代別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合 計
10代	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
20代	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (0)	2 (1)	8 (0)	6 (0)	4 (0)	2 (0)	29 (1)
30代	1 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	22 (0)
40代	4 (0)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	9 (0)	5 (0)	7 (0)	4 (0)	1 (0)	40 (0)
50代	2 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	3 (0)	2 (1)	8 (0)	6 (0)	7 (0)	1 (0)	36 (2)
60代	4 (0)	0 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	4 (1)	3 (0)	28 (1)
70代以上	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	13 (1)
合 計	12 (0)	9 (0)	13 (0)	8 (0)	3 (1)	15 (0)	16 (2)	32 (0)	26 (1)	24 (1)	11 (0)	169 (5)

※（ ）内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。

